

平成29年度 政策づくり塾 第2回活動報告

第2回(6月9日)政策づくり塾は、アイスブレイクとして「この1カ月で一番印象的な出来事」をテーマに塾生の1分間トークで始めました。また、塾生の「プロフィール集」が配布され、個性あふれる内容から各人の人柄や思いを感じ取ることができました。

ディスカッションでは活発な議論が交わされ、今後の活動を進めていく上での足固めとなりました。

講義「定住人口減少抑制に向けた取組みについて～舞鶴市の現状と地方創生の取組み～」

企画政策課 亀井主査から「舞鶴市の現状や地方創生の取組み」、また、「課題を考えるために必要なポイント」などについて講義を受けました。

【課題を考えるためのポイント】

1. まちの現状を知る(人口推移)

- ◆人口減少に加え、少子高齢化により人口構成の「質」が大きく変化している。
- ◆自衛隊・海上保安庁・舞鶴高専など、舞鶴特有の機関があり、比較的若年男性は多いが若年女性は少ない。
- ◆舞鶴市の合計特殊出生率は1.86と、全国的に見てかなり高い。(国は1.39)

2. まちづくりの着想

- ◆現状(今)だけにとらわれないこと
➢現状に至った“過去”を検証し、“未来”を予測してみる。
- ◆まちの成り立ちを知ること
➢現在の舞鶴がどのように出来たのか、なぜそうなったのか、成り立ちの経緯を考える。
- ◆未来は現状(今)と同じではない意識をもつこと
➢現在の課題は、10、20年後の未来においても課題になるかを想像してみる。

3. 自分にできることを考える

- ◆自分がやりたいこと、疑問に思っていることなどから考えなければ具現化しない。
- ◆暮らしの中で感じること、見聞きすること、人と接して感じることから考えてみる。

【地方創生の取組み】

「舞鶴市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく、「交流人口300万人・経済人口10万人」都市・舞鶴の実現に向けた取組みが紹介されました。

地方創生の推進において重要なこと

- ◆地域の強みを理解し活かすこと ◆自分たちのまちに誇りを持つこと ◆地域一丸となって取組むこと

【活動を進めるにあたり】

まずは、「まちのこと」や「身の周りのこと」を少しでも知ること、そして、情報や目的を仲間と共有して取組んでいくことが大切。



▲講義の様子

グループディスカッション

「舞鶴市の課題と舞鶴市が盛り上がる取組み」をテーマに、ディスカッションを行いました。

日々感じている舞鶴の課題について熱い議論ができ、各塾生の興味や感じ方を知ることができました。また、今後の公共活動への意識付けができたのではないかと思います。

【ディスカッションで出た課題と取組み】

- 地域コミュニティが希薄化しているように感じる
➢高齢者と子育て世代の交流会
- 舞鶴には良いものがたくさんあるのに知らない人が多い
➢若い世代に舞鶴の良さを知ってもらう



▲グループワークの様子